

Webページを作成しよう!

AppLii活動体験会 5/16

進行: 松本眞祐

今日の流れ

- グループを作る
- 環境構築
- Webページの作り方(HTML)
- Webページのデザインを決める方法(CSS)
- VSCodeの使い方
- 作業開始!
- 皆のWebページをしてみる

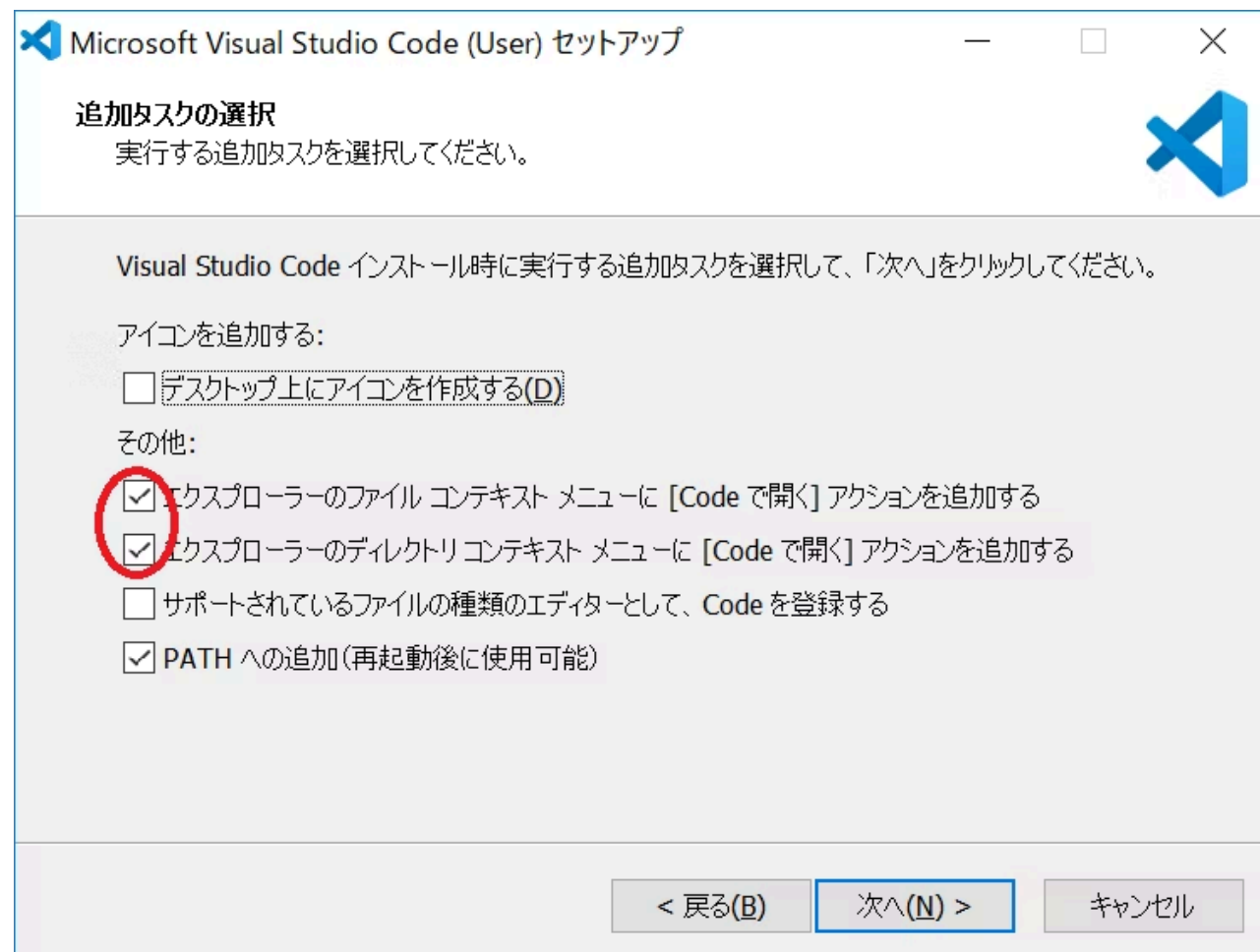
環境構築

インストーラをダウンロード

1. ファイル共有用のWebページにアクセス(airoに接続している必要があります)
2. 「VSCodeのインストーラ」をクリックしてダウンロード開始

VSCoideのインストール手順

1. ダウンロードしたインストーラを実行
2. 「コンテキストメニューに追加する」以外、全部Enter



LiveServerへの参加方法

すでに開いてもらっている、applii-wu.net/trial/3-webpageにリンクを置いてあります。

自分の班のリンクをクリックしてください。

Webページの作り方

まず、実物をお見せします! (理解しなくてOK)

実際のWebページを見てみましょう

(サイトを開いてから **F12** を押すとそのサイトのHTMLを見れます)

- 阿部寛のHP (少し難しい)
- 資料配布のWebページ (かんたん)

HTMLの構文(その1)

「<要素名>テキスト</要素名>」

<h1>見出し1</h1>

太字

HTMLの構文(その2)

<要素名>

<子要素名>テキスト</子要素名>

<子要素名>テキスト</子要素名>

:

<子要素名>テキスト</子要素名>

</要素名>

```
<div>
```

```
<p>Hello, world!</p>
```

```
<p>AppLiiへようこそ</p>
```

```
</div>
```

HTMLの構文(その3)

<要素名 属性名=値>テキスト</要素名>

```
<a href="https://applii-wu.net/">HPはこちら!</a>
```

HTMLの構文(その3) 補足

class属性

```
<div class='container'></div>
```

ここで指定したクラス名を、CSSで使います。

class と CSS という名前だけ覚えておいてください。

基本的なHTML要素

- 見出し要素 (h1～h6)
- 段落要素 (p)
- リンク要素 (a)
- 画像要素 (img)
- インライン要素 (span)
- リスト要素 (ul, ol, li)
- テーブル

見出し要素（h1～h6）

見出しを表す要素です。h1が最も大きく、h6が最も小さい見出しとなります。

```
<h1>大見出し</h1>
```

```
<h2>中見出し</h2>
```

```
<h3>小見出し</h3>
```

段落要素 (p)

テキストの段落を表す要素です。自動的に上下にマージンが付きます。

```
<p>これは段落のテキストです。</p>
```

リンク要素 (a)

他のページやURLへのリンクを作成する要素です。

```
<a href="https://applii-wu.net/" target="_blank">AppLiiのHP</a>
```

- href : リンク先のURL
- target="_blank" : 新しいタブで開く

画像要素 (img)

画像を表示する要素です。

```

```

- `src` : 画像のURL
- `alt` : 代替テキスト (画像が表示できない場合やスクリーンリーダー用)
- `width` : 画像の幅
- `height` : 画像の高さ

div要素

いくつかの要素をまとめて1つの要素と認識したいときに使います。
頑張ったら、divの中の要素を横並びにすることもできます。

```
<div>  
  <要素1></要素1>  
  <要素2></要素2>  
</div>
```

インライン要素 (span)

テキストの一部をグループ化するためのインライン要素です。

```
<p>これは<span class="highlight">強調</span>されたテキストです。</p>
```

- `class` : CSSで使う用のクラス名

リスト要素 (ul, ol, li)

順序なしリスト、順序ありリスト、リスト項目を表す要素です。

```
<ul>
  <li>順序なしリスト項目1</li>
  <li>順序なしリスト項目2</li>
</ul>

<ol type="1">
  <li>順序ありリスト項目1</li>
  <li>順序ありリスト項目2</li>
</ol>
```

- `type` : リストの種類 (olの場合、1, a, A, i, Iなど)

テーブル

```
<table>
  <thead>
    <tr>
      <th>見出し1</th>
      <th>見出し2</th>
    </tr>
  </thead>
  <tbody>
    <tr>
      <td>データ1</td>
      <td>データ2</td>
    </tr>
    <tr>
      <td>データ3</td>
      <td>データ4</td>
    </tr>
  </tbody>
</table>
```

ほかにもできること!!

使いたいときに調べてみてください!

- Youtube / GoogleMap / Spotifyを埋め込む
- マウスをかざしたら色を変える
- 他のWebページを、自分のWebページに表示する

Webページのデザインを決める方法

皆さんの画面に表示されているファイルは2種類。

- HTMLファイル
- CSSファイル

CSSファイルは1つだけ。 `style.css` というファイル名がついています。

CSSとは？

Webページのデザインを決めたいときに使います。

例えば、

- h2要素はすべて青色にする!
- 背景はグレーに!

CSSの文法(その1)

```
HTMLの要素名 {  
  属性名: 値;  
  属性名: 値;  
}
```

```
h1 {  
  color: blue;  
  text-align: center;  
}
```

上のようにCSSを記述すると、HTMLの `h1` 要素が青色+中央ぞろえになります。

```
<h1>見出し</h1>  <!-- これが青色+中央ぞろえになる -->
```

CSSの文法(その2)

```
.クラス名 {  
  属性名: 値;  
  属性名: 値;  
}
```

```
.highlight {  
  background-color: yellow;  
}
```

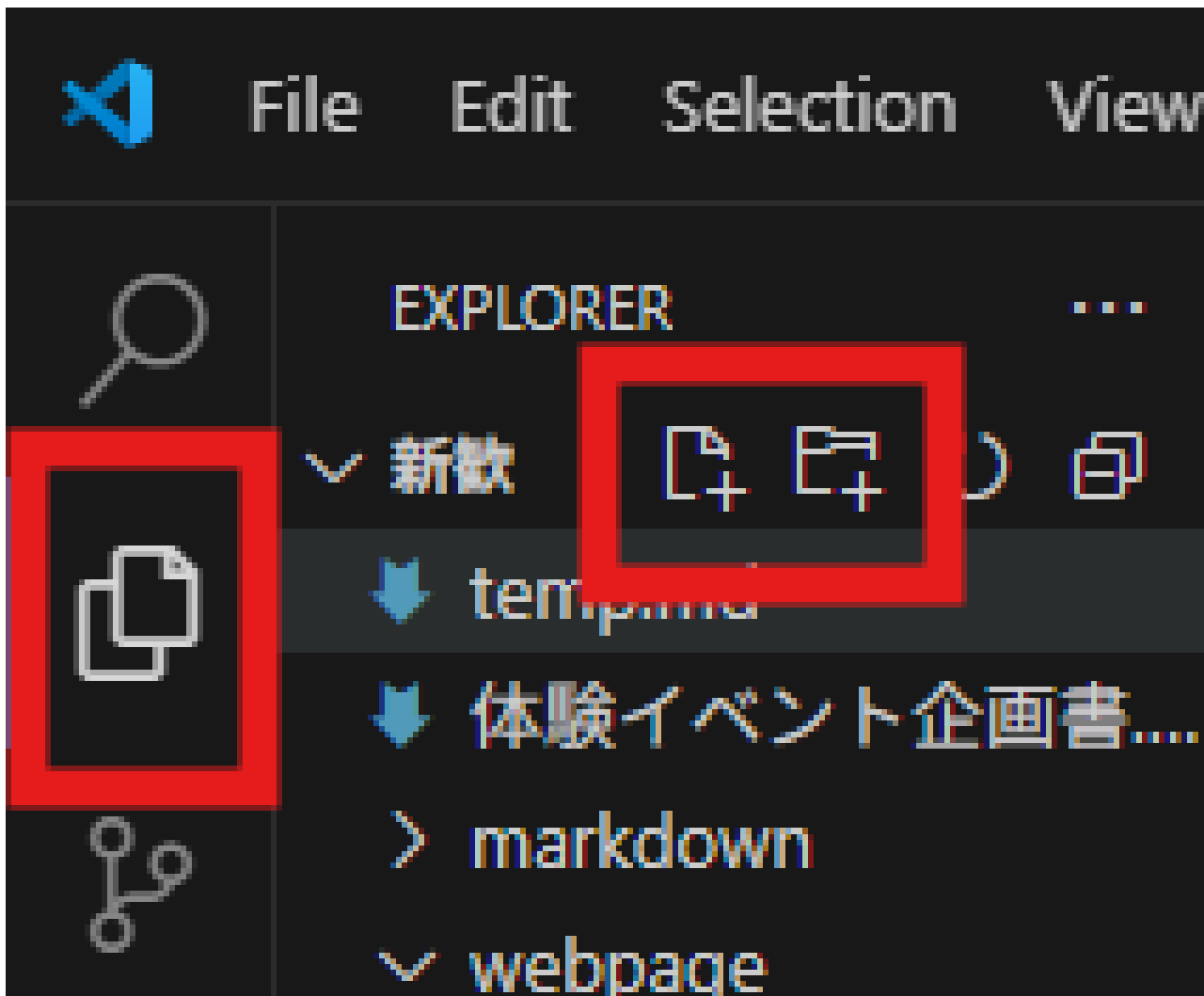
HTMLで、 `class="クラス名"` とするとCSSで指定したスタイルが適用される!

```
<span class="highlight"></span>
```

VSCodeの使い方

- エクスプローラを開くボタン
- ファイル・フォルダ作成ボタン
- 検索の仕方: `Ctrl + F`

※ エクスプローラ: ファイル一覧



Tips!

`Ctrl` + `/` で、コメントアウト!

コメントアウトとは、プログラムの一部を一時的に無効化することです。
コメントアウトされた部分はプログラムとして実行されません。

HTMLの場合: `<!-- コメント -->`

CSSの場合: `/* コメント */`

作業開始!